

登録コード	E8005400	開講年度	2026				
授業科目	国語科指導法特別演習Ⅱ					担当教員	八木 雄一郎
英文授業名	Advanced Seminar in Japanese Teaching Ⅱ					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・3時限	対象学生	
講義室	教育M301講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	・初等・中等国語科教員に求められる対話能力、協調性、課題遂行能力を涵養することができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	国語科教育に関する論文を講読、発表し、議論を行う。また、論文執筆法や文献調査法についても先行研究を読み、研究することの意味と方法を学ぶ。						
(5)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：研究論文の作成の目的 第3回：研究論文の基本①－テーマの探し方－ 第4回：研究論文の基本②－問いの立て方－ 第5回：研究論文の基本③－文献の調べ方－ 第6回：研究論文の基本④－構想の立て方－ 第7回：研究論文の基本⑤－論文作成のプロセス－ 第8回：研究論文の基本⑥－研究の活かし方・伸ばし方－ 第9回：国語科教育学関連論文のレビュー①－目的論を中心に－ 第10回：国語科教育学関連論文のレビュー②－方法論を中心に－ 第11回：国語科教育学関連論文のレビュー③－内容論を中心に－ 第12回：国語科教育学関連論文のレビュー④－実践研究を中心に－ 第13回：国語科教育学関連論文のレビュー⑤－歴史研究を中心に－ 第14回：研究発表の方法について 授業アンケート						
(6)成績評価の方法	授業内の課題設定に基づく期末レポートの内容をもって、方法知の理解と内用知の深化とを測る（50％）、加えて協調的な小課題（25％）、授業後の振り返りレポートの提出（25％）をもって審査す ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	①問題の設定が適切であり、②その問題の背景を説明できており、③その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、④それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており ⑤その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。 ①から⑤の4項目を満たしていれば「かなり上にある」、3項目までできていれば「やや上にある」、2項目までできていれば「水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	授業中に課題を示すので、次の授業までに取り組んでくること。						
(9)履修上の注意	事前に当該の文献を入手し、予習を欠かさないこと。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	空いた時間であればいつでも相談に応じます。 Mail: yagi_yu@shinshu-u.ac.jp TEL：026(238)4076						
【教科書】	授業中に指示する。						
【参考文献】	全国大学国語教育学会編『国語科教育学研究の成果と展望Ⅲ』 溪水社						